

令和3年度 修文女子高等学校 学校評価（計画）

【教育目標】

知的で、明るく、たくましく、共感力をそなえ、国家、社会に貢献できる人間力を養う。

【グランドデザイン】～ 特色と魅力に富んだ、入学したくなる学校を目指して～「Speed! Challenge! Innovation!」

【目標領域1】文武両道・全人教育(人間力の育成)

- 1 人間力育成のために学院訓「推譲・明朗・強健」の具現化を図る
- 2 男女共学化・新学習指導要領実施に伴い、多様な生徒に対応できる指導体制を構築する
- 3 多様な進路実現を達成するための学力の保証と進路指導を充実する
- 4 心の教育を推進し、共感力・自立心やたくましい精神力を養う
- 5 学校を取り巻く社会の変化に対応できる資質・能力を育てる

【目標領域2】教育は人なり(教師力の向上)

- 1 予習・授業・復習のサイクルを明確にした「修文メソッド(カリキュラムポリシー)」を各教科で確立し、徹底させる
- 2 教員の授業力向上

【目標領域3】

- 1 地域社会に貢献し、地域の教育力を活用する
- 2 高大連携の充実

【目指す学校像】

地域に信頼される学校(地域連携・高大連携の充実)

【今年度の重点目標】

- 1 社会人となるための基本を身につけさせる
- 2 学習に対する意欲を喚起し、学力を向上させる ～学力の保証～
- 3 心の教育の充実・自立心を育てる ～心の学校～
- 4 防災教育を推進する ～安心・安全な学校～
- 5 地域の期待にこたえ、信頼される学校をつくる ～開かれた学校～

項目	重点目標	具体的方策	留意事項
普通科	基礎学力の定着	・朝の反復学習における国英数、時事に関する学び ・家庭学習の充実に向けた継続的な仕掛け	・朝の反復学習では、国語や英語の簡単なワークや計算問題への取り組み、新聞のコラムについての学習などを実施し、基礎学力の養成を図るとともに、基本的な学習習慣の形成へつなげていく。
	応用力の養成	・習熟度別クラス編成による授業の実施(国数英) ・コース別で行われる応用力養成のための授業 ・学力や進路希望に応じた補習の実施(進路課)	・それぞれの学力に応じた適切な指導を行うとともに、よりレベルの高い授業、補習を実施することで、生徒の(客観的に計測できる)学力を引き上げる。
	視野の拡大	・進路行事の実施時における振り返りの徹底 ・CPタイムの積極的な活用	・自身の適性や進路希望について、年間を通じて絶えず思考を深めさせる。 ・自分の生活を自律的に振り返ることで、自分にできることを増やしていく。
	可能性の追求	・模試の積極的受験の奨励と対策の実施(進路課)	・自らの能力を過大評価、過小評価することなく、目的に向かって一心に学習に取り組む姿勢を育む。
情報会計科	積極的な資格取得と納得のいく進路実現	・夏季補習、検定直前補習、朝補習の充実 ・緻密な進路指導 ・個人面談の充実	・組織的な検定補習によって、卒業時に全員が技術顕彰の受領を目指す。 ・進学希望者には、個人面談を実施するとともに、資格を利用した推薦制度の紹介をする。 ・就職希望者には、個人面談や面接練習等を実施し、きめ細やかな指導をする。
	ビジネスの諸活動で即戦力となる人材の育成	・報連相の徹底 ・凡事徹底 ・ICT教育の充実と活用	・報連相を徹底することで、コミュニケーション能力の伸長を図る。 ・挨拶、授業準備、課題提出等の凡事徹底を通して、社会人基礎力を身につけさせる。 ・ICT機器やクラウドを活用し、最先端のICT教育を推進する。
家政科	専門教科の技術の習得と資格取得	・家庭科技術検定にむけての補習の実施 ・徹底反復学習等における検定問題への取り組み	・家政科としての自覚を持たせ、被服、食物、保育の技術と知識を身につけさせる。 ・課題研究選択コースについての検定に積極的に取り組ませる。
	自ら考え行動できる力の育成	・報連相の徹底 ・リーダーとなれる人材の育成 ・外部イベントへの積極的参加	・基礎学力や基本的な生活習慣を身につけさせ、計画的に学習・作品製作を進められるようにする。 ・個人面談を定期的に行い、生徒の実態を把握する。
食物調理科	調理技術と知識の習得	・定期的な個人面談を実施 ・各種検定取得に向けての対策補習の実施	・個人面談を定期的に行い、一人ひとりの特性の把握に努め、問題の早期発見・早期解決を図る。 ・基本的な生活習慣を確立させ、調理師としての自覚を育てる。
	地域に根づく学科	・地域活性化事業への参加 ・地元企業との商品共同開発	・一宮市にちなんだメニューを考案する。継続的に商品化できるように地元企業に働きかける。 ・地域の方々と接することで、コミュニケーション能力を育てる。
総務課	防災に対する取り組みの推進	・防災教育の推進、防災マニュアルの構築	・危機を予防するために、安全点検・防災訓練・教員研修を実施し、安全に行動できる知識や能力を育成する。
	PTAや同窓会との連携の推進	・PTA活動の主体的な取り組みへの支援 ・同窓会などの情報発信	・校務支援システム(BLEND)やホームページを通して取り組みを紹介し、協力連携を図る。
教務課	生徒の学力向上	・基礎学力の定着と応用力の養成	・学習コンクールで60点以上、基礎力診断テストでD2以上、到達度テストでの連動課題配信を促し、入試に対応できる運用能力を身につけさせる。
		・英語教育の充実	・本校での英語活動を通して興味関心を抱かせ、英語力向上だけでなく、積極的に活用できるようにする。
	教員の授業力向上	・授業規律の確立と授業力の向上	・始業や終業のけじめと挨拶を徹底する。 ・ICTの授業を取入れ、アダプティブな対応で生徒の学習効果の向上に努める。
	図書館の利用促進	・読書環境の整備	・良質な読書環境を整備する。 ・図書館を授業・特別活動等で計画的に利用し、生徒の主体的・意欲的な学習活動や読書活動の充実を図る。
生徒課	品位ある生徒の育成	・挨拶の励行	・挨拶が飛び交う雰囲気づくりを醸成する。 ・コロナ禍に適した挨拶を励行する。
		・登下校マナーの確立	・交通事故「0」を目指し、交通マナーを遵守する。 ・見回り指導を実施し、正しいマナーを身につけさせる。
	男女共学化への取り組み	・校則の見直し	・男女共学化に向け、校則の見直しを図る。
		・部活動の活性化	・男女共学化に向け、新設・統廃合などを含め整理する。
保健管理の徹底	・心身の健康意識の向上	・定期的に保健だよりを配付し、生徒や保護者に情報提供と協力を得る。 ・相談室開室日を定期的に知らせ、相談により心の安定した日常を送ることができるようにする。	
進路課	妥協のない進路目標とその実現	・進路行事の連携と意識づけ	・継続的かつ明確な目的を持った指導により、3年間の熟慮の結果として進路選択をさせる。
		・多様な入試制度の活用	・月に1回程度、外部から講師を招いて研修会を実施し、進路課員の進路指導力を高めるとともに、常に新しい情報を得て進路指導を充実させる。また、進路検討委員会を計画的・定期的に行い、様々な入試制度への対応策を研究する。
		・就職試験対策の強化	・就職試験対策の補習により基礎学力の定着を図る。また、面接試験において加点となるような面接指導を実施し、全員が第一志望の企業に合格できるようにする。
広報課	情報発信と広報行事の充実	・ホームページ・SNS・学校案内・広報行事を通して、本校の魅力を、読者目線に立って発信	・ホームページ、SNS、学校案内等、より一層見やすく魅力的なものにしていく。 ・オープンスクール、入試説明会等のPRをより一層拡充し、本校の魅力を発信する。